



シュウメイギク

水滴石穿

令和2年9月24日 発行

文責 小畑 朋大

〈 熱く盛りあがった体育祭 〉

「我らの青春今ここに～笑う団には福きたる～」のスローガンのもと、赤団と青団に分かれて白熱した戦いを繰り広げてくれました。熱中症の心配もありましたが、誰も倒れることなく完全燃焼できた体育祭でした。



今年の体育祭は、コロナの影響で様々な規制がある中で行われた体育祭だった。でも、そんなことを感じさせない最高の体育祭になったと思う。

来年は自分たちが体育祭を作っていく年なので、今年の体育祭に負けないような最高の体育祭をつくりたい。



最初はダンスなど練習していて間に合うか不安でした。そんな中で、1年生、3年生と一緒に助け合って協力していかないといけないので、3年生がしてほしいことを考え、行動することができました。1・3年生と一緒に協力して新しいチームで楽しめたいし、優勝できてうれしかったです。



一番思い出に残っているのは代表リレーです。理由は、練習の時はタイミングが少しずれてしまうことがあって心配だったバトンパスが上手くできたからです。コロナの影響で、他の学校では体育祭が行われないところもあるので、行えたことに感謝したいです。



最初の円陣から最後の応援歌まで声が枯れるくらいの声を出した。笑顔がなくなってきていたみんなに、「おい！ノリノリでいくぞ！」と大声で言うと「はい！」と返してくれた人がたくさんいて、自分でも人を引っ張ることができるんだと思った。



中学校2回目の体育祭で特に印象に残っているのはやはり応援合戦だ。競技の中で一番練習したからだ。最後まで踊りきれ、練習の成果を出すことができてよかった。



とても良い天気でのびのびできました。5点差という僅差ながらも、勝つことができてとてもうれしかったです。3年生との行事もわずかになりましたが、これからも思いっきり行事を楽しみたいと思います。



